

SMB Cカップ第19回全国小学生タグラグビー大会中関東ブロック予選大会実施要項

令和4年10月10日

- 目的 全国各地の小学生がタグラグビーをプレーすることにより、ラグビースピリットを通じ、仲間と助け合うことを体験し、自ら考えて道を切り開くことを身につけ、スポーツの意義を実感することを目的とする。
- 主催 (公財)日本ラグビーフットボール協会
- 主管 関東ラグビーフットボール協会、千葉県ラグビーフットボール協会普及育成委員会、浦安市ラグビーフットボール協会
- 後援 スポーツ庁、朝日新聞社、千葉県教育委員会（申請中）、千葉県スポーツ協会（申請中）、浦安市教育委員会（申請中）
- 特別協賛 SMB Cグループ
- 協賛 株式会社 BLK JAPAN
- 期間 令和5年1月22日（日） ※雨天決行
- 会場 プリオベッカ浦安競技場（浦安市陸上競技場） 〒279-0031 浦安市舞浜 2-27 047-350-9830
- 競技規則 (公財)日本ラグビーフットボール協会タグラグビー標準競技規則に基づく大会規則に準ずる。
- 参加費 1チーム100円（県大会にてすでに領収済み）
- 申込方法 参加チームは、各県予選大会における中関東大会出場条件をクリアしたのち、令和5年1月10日（火）までに別紙申込み用紙を電子メールにより提出してください。

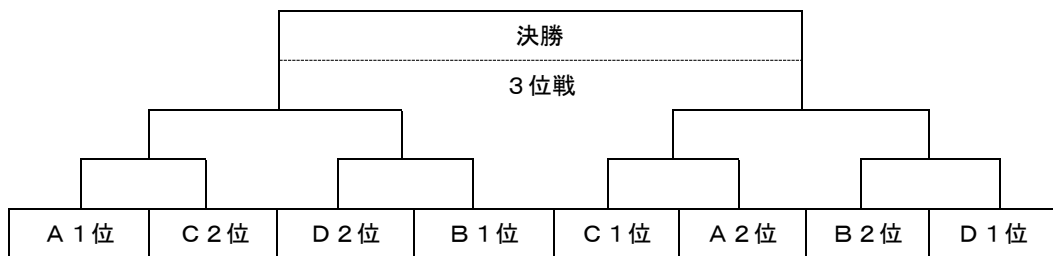
送信先 大会事務局 千葉県協会普及育成委員長高濱（かひら）：hammer@pc5.so-net.ne.jp

- 組合せ等 (1) 各県予選大会を勝ち抜いた上位4チームがエントリーできる。
 (2) 3チームずつ4プールに分け、リーグ戦で1～3位の順位を決定する。
 (3) 各プールの順位2チームが決勝トーナメント戦を行う。
 (4) 決勝トーナメント戦の優勝チーム、および優勝チームの所属県以外の県のなかでトーナメント最上位成績のチーム、の2チームが全国大会に出場する。
 (5) レフリーは、各県から2名ずつ割当てを行い、不足分については、開催県で賄う。

○リーグ戦

Aプール	千葉1位	埼玉3位	茨城4位
Bプール	埼玉1位	茨城3位	千葉4位
Cプール	茨城1位	千葉3位	埼玉4位
Dプール	千葉2位	埼玉2位	茨城2位

○トーナメント戦



代表者会議 大会当日、試合開始前にグラウンド本部にて実施予定

競技日程 受付 9:30～10:00 審判講習 10:00～10:10 競技 10:30～12:10

試合	時間	Iコート	IIコート	IIIコート	IVコート
第1試合	10:30～	Aプール リーグ戦	Bプール リーグ戦	Cプール リーグ戦	Dプール リーグ戦
第2試合	10:55～				
第3試合	11:20～				
休憩	11:45～				
第4試合	12:45～	準々決勝①	準々決勝②	準々決勝③	準々決勝④
第5試合	13:20～	準決勝①	準決勝②		
第6試合	13:45～	決勝	3位戦		

参加資格

- 小学生4～6年生(日本の学期制による)で編成したチームとする。
- 原則、単一小学校の参加とする。ただし、タグラグビー普及の地域差により単一小学校でチームが組めない場合は、複数小学校の小学生による合同チームの参加を認める。
- 参加チームは成人2名が必ず帯同コーチとして引率し、登録選手の保護者から参加の承諾を得ていること。また、大会要項その他主管団体の定める大会規則の遵守を誓約すること。
- 茨城・埼玉・千葉各県予選大会において優秀な成績を収め、本大会への出場資格を獲得していること。
- 参加者としてピッチレベルに入場できるのは、登録選手(最大10人)・帯同コーチ(2人)・引率教諭(1人)・チームスタッフ(感染症対策・撮影者各1人)のみとする。
- (5)以外の選手の保護者・親族・チーム関係者(児童やスタッフ等)は、チームごとにまとめて観戦者名簿を提出することによって、スタンドでの観戦を許可する(ピッチレベルへの入場は禁止)。
- スタンドで観戦する選手や保護者の指導は、各チームのスタッフ、とくに感染症対策要員が責任をもって行う。
- 帯同コーチは当該チームを指導掌握し、責任を負う事の出来る者であること。
- 帯同コーチは所属小学校長(複数であれば総て)の承認を受けていることが望ましい。但し、必ずしも小学校長

の承認がなくても、帯同コーチおよび保護者の責任において参加することも可能とする。

- (10) 帯同コーチは競技規則と適用に熟知していることを条件とし、最低1名は大会レフリーとして協力可能な者とする。
- (11) レフリー協力にあたっては（公財）日本ラグビーフットボール協会のスタートレフリーの資格を有していることが望ましい。
- (12) 参加登録費（保険料）を納める。（各県予選出場時に納付済み）
- (13) 負傷その他の事由により、チームの活動可能選手が6名以下となった場合は、棄権とする。

罰則
安全対策 大会要項、大会諸規約、競技規則について、違反・スポーツマンシップに反する行為があった場合は厳重な処罰を行う。

- (1) 大会期間中は主管団体が所定の救急指定病院を定める。
- (2) 大会期間中は、主管団体が担当医師及びメディカルスタッフを任命する。ウォーターパーソンは各チームが担当するものとする。
- (3) 試合中の傷害について、当日の応急の医療処置は主管団体が施すが、事後処理はチーム及び保護者が行うものとする。
- (4) 大会期間中の保険は主催者（JRFU）でまとめて加入する。
- (5) 競技・練習中以外は、全員マスクを着用すること。
- (6) 練習や試合の前後等、活動の合間には必ず手洗いを実施すること。手洗い用の泡式ハンドソープや手指消毒アルコールは各チームで準備すること。
- (7) 会場に設置する手指消毒剤は主管団体で準備し、会場入り口、お手洗い付近等に設置する。
- (8) 会場施設の手指接触が多い箇所は、運営者が定期的に消毒する。
- (9) 観戦の際は、適切な距離を確保し、大声を発することなく、マスクを着用すること。声援に代えて拍手で応援することが望ましい。

健康管理 (1) 大会参加にあたっては、当該チームにて予め健康管理を行い、充分留意すること。
(2) 大会当日、発熱等の体調不良がある者は来場しないこと。
(3) 受付において「健康チェックシート」を提出すること。提出がない場合は入場を認めない。
(4) 「健康チェックシート」の提出対象は、参加資格（5）の全員である。
(5) 登録選手・帯同コーチ・引率教諭・チームスタッフの「健康チェックシート」は、帯同コーチ1が、スタンドで観戦するチーム関係者の「観戦者名簿」は感染症対策要員が、確認・作成し、それぞれ本部受付に提出する。
(6) 試合中以外での病気傷害についてはチーム内で処理すること。
(7) 参加選手は必ず保険証またはそのコピーを持参すること。

肖像権 大会出場選手の肖像権は主催者にあるものとする。
※公式ウェブサイト内の掲出や、次年度以降の大会のポスター・プログラム等に使用される可能性がある。

費用 (1) 旅費交通費支給はなし。
(2) 参加費は出場選手保険料の100円とする。（各県予選出場時に納付済み）

表彰 (1) 1位～4位チームを表彰する。
(2) 決勝トーナメント戦の優勝チーム、および優勝チームの所属県以外の県のなかでトーナメント最上位成績のチームの2チームが全国大会に出場する。

開閉会式 (1) 開・閉会式、および表彰式は実施しない。

参加申し込み問合せ (1) 申し込み問合せ先 大会事務局
〒261-0012 千葉県千葉市美浜区磯辺2-7-1 千葉県立磯辺高等学校内 高濱剛
TEL: 047-277-2211 FAX: 043-278-2071 Email: hammer@pc5.so-net.ne.jp

(2) 申し込み方法 メールで受付。

エントリー用紙に必要事項を記入の上、受付期間中に大会事務局へ（各県予選担当者）。
捺印のある正式な用紙は、大会当日に提出すること。その際は、健康チェックシートの提出も忘れないこと。エントリー用紙および健康チェックシートは下記千葉県ラグビー協会公式サイト内の普及育成サイトからダウンロード可能。
<http://chibarugby.jp/>（トップページのCONTENTSから普及育成委員会をクリック）

- (3) 受付期間 令和5年1月10日（火）まで
- (4) 参加受付 参加申し込みは、メールで提出するとともに、捺印された正式な申し込み書および健康チェックシートを当日チーム受付時に提出すること。スタンドで観戦するチーム関係者がいる場合は、「観戦者名簿」も提出すること。

その他 (1) 大会で使用するタグ、タグボールは主管団体が用意する。
※タグの色が重なった場合は別色のタグを貸し出す。ボールは試合前、ハーフタイムに消毒を行う。
(2) 各チーム帯同コーチ1名は、他のチーム同士の試合のアシスタントレフリーが務められること。
(3) 大会当日は観客制限を行う。チームの把握している「観戦者名簿」に記載されている者のみスタンドで観戦することができる。一般・第三者のスタンドへの入場（観戦）は禁止する。
(4) 新型コロナウイルス感染拡大状況によって、大会開催有無を含め、大会規模縮小、無観客試合など、制限を行うことがある。
(5) 全国大会は、令和5年2月25日（土）・26日（日）熊谷ラグビー場にて開催予定。
(6) 今回の大会は新型コロナの感染拡大の影響により、これまでと同等規模の大会を実施することが困難であると思われる。感染状況や医療状況などを十分に考慮し、プレーヤーの安全を確保できるよう専門家とも検討を重ね全国大会の実現を目指していく。